

第10回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

【委員会の主旨及びこれまでの取り組み経緯】

足羽川ダム建設事業における環境調査及び環境保全措置について、専門家の意見を伺うことを目的に平成26年3月「足羽川ダム環境モニタリング委員会」を設立。

これまでに9回の委員会を開催し、足羽川ダム環境モニタリング計画や環境保全措置の計画についてご意見をいただき、ダム建設事業への進捗に合わせて環境保全に取り組んでいます。

【第10回環境モニタリング委員会 開催概要】

令和4年3月18日にダムギャラリーあすわにおいて開催。

委員会では、令和3年モニタリング調査結果と環境保全措置の内容及び令和4年モニタリング調査計画（案）についてご意見をいただき、今後の調査及び環境保全措置の実施計画が確認されました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら委員会を開催

委員会開催状況



福原委員長 挨拶



委員会開催状況



コロナ対策（検温・消毒）

委員名簿（敬称略、五十音、◎委員長）

氏名	担当分野	現職等
おくむら みつし 奥村 充司	水環境	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
くぼかみ そうじろう 久保上 宗次郎	鳥類 生態系	猛禽類研究家
◎ ふくはら てるゆき 福原 輝幸	水環境	福井大学 名誉教授
まつた たかき 松田 隆喜	魚類	福井農林高等学校 教諭
みずぐち あき 水口 亜樹	植物	福井県立大学 生物資源学部 創造農学科 准教授

第10回 足羽川ダム環境モニタリング委員会

I. 事務局からの報告

- ・ 委員からの意見に対する対応状況について
- ・ 令和3年モニタリング調査結果と環境保全措置について
- ・ 令和4年モニタリング調査計画(案)について

II. 委員会での意見

委員からの意見及び事務局回答は以下のとおりです。

委員からの意見	事務局回答
水海川導水トンネルの施工に伴う地下水位の低下について、令和4年1月～2月で地下水位が明確に低下しており、トンネル周辺の水環境に影響を及ぼすことが懸念される。	ご意見を踏まえ、トンネル周辺の水環境への影響を確認するため、引き続き地下水位の調査を実施します。
地下水位の低下とトンネルからの湧水量の相関性を確認すること。	ご意見を踏まえ、地下水位と湧水量について引き続き調査を実施し、相関性を確認します。
希少猛禽類のモニタリング調査について、調査速報を早い段階で提供いただきたい。	ご意見を踏まえ、調査速報をご提供致します。

III. 今後の予定

- ・ 令和4年モニタリング調査計画に基づきモニタリング調査を実施する。
- ・ 工事やモニタリング調査の実施状況を適宜委員に報告のうえ、ご指導・ご助言を仰ぎながら必要に応じて速やかな対応を行い環境保全上の影響を極力小さくするように努める。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況及び工事の進捗状況を踏まえ、現地視察等を実施したうえで、環境保全措置の実施状況等について、委員から意見を伺うものとする。